

新型コロナウイルス感染に関するご報告

札幌西・手稲地域における感染拡大について

生活介護事業所ほしのみにおいて、12月15日の日中に利用者1名が発熱し、PCR検査で陽性が確認されました。以降その利用者が活動するフロア及びグループホームの閉鎖対応をおこない、保健所の指示に基づきグループホーム内のゾーニングを実施しました。しかし、その後も感染が広がり、受診によるPCR検査、抗原検査、及び12月20日のPCR行政検査までに利用者3名、職員3名の陽性が確認されました。エリア内のグループホーム閉鎖を継続し、ほしのみ在宅の利用者の利用も控えていただきましたが、12月27日までに2回目の行政検査（12月26日実施）で利用者6名、受診等の検査で職員5名の陽性が確認されました。12月21日以降、体調観察期間内に症状がみられなかった利用者の利用を随時再開しながら、陽性となったグループホーム利用者の療養及び体調観察をおこなっておりましたが、2023年1月4日より、最後に陽性が確認された利用者以外全員通常の生活に戻られております。最後に陽性が確認された利用者も1月10日に抗原検査で陰性が確認され、1月11日より通所を再開しております。

最終的に利用者11名、職員8名の計19名が感染する結果となりました。

長期にわたり、利用者の皆様、ご家族の皆様へ多大なるご不便、ご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。また、この間のご協力や励ましに対しまして、改めて感謝申し上げます。

今回の感染拡大から得た知見をもとに再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。